

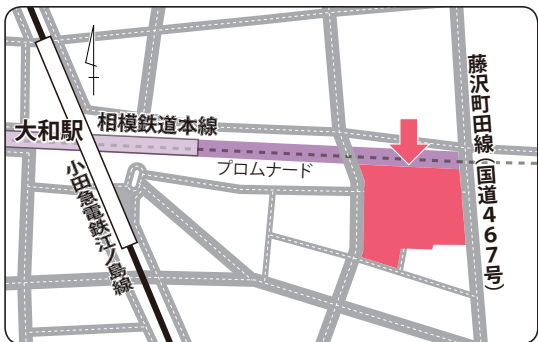
大和駅東側第4地区公益施設

文化複合施設の整備が進んでいます

市は、大和駅東側第4地区第一種市街地再開発事業に合わせ、市の文化創造の拠点となる文化複合施設(芸術文化ホール、図書館、生涯学習センター、屋内こども広場などで構成)の整備を進めています。7月からは再開発組合が建設に着手。平成28年11月の開館に向けて整備が進んでいます。



現地の様子(7月10日撮影)



再開発事業区域位置図



プロムナード側から見た外観イメージ

施設内部の完成イメージ



【図書館】

調べる。学ぶ。くつろぐ。目的に合わせたさまざまなコーナーを設置します。



【芸術文化ホール】

メインホール(約1,000席)では、コンサートや演劇などを楽しめます。



【子どものためのフロア】

児童書が充実した図書館や雨の日も思い切り遊べる広場を設置します。

このほか、ギャラリー、市民交流ラウンジ、会議や講習に使えるスペースなどを整備します。(画像提供:大和駅東側第4地区市街地再開発組合)

問 再開発事業について▶市役所街づくり推進課大和駅周辺市街地整備支援担当☎(260)5754 ㊟(264)6105。
文化複合施設について▶市役所文化創造拠点開設準備室文化創造拠点開設準備担当☎(260)5256 ㊟(263)2080。

市立病院の救急棟が稼働中

市立病院では、平成24年度から「救急棟」の施設整備を進め、4月から全面稼働中。より充実した医療サービスの提供に努めています。



病院敷地内北側に位置する2階建ての救急棟

- 県央地域唯一の地域がん診療連携拠点病院として、がん診療機能を強化
- 小児救急を含めた救急受入体制を充実
- より多くの患者に対応できるよう診療室などを増加

問 市立病院病院総務課総務調整担当 ☎(260)0111(代) FAX(260)3366。

AEDを約300か所に設置

市では、緊急時に「誰でも、すぐに」AED(自動体外式除細動器)を使用できるように、公共施設、コンビニ、郵便局、民間事業所など約300か所*の施設にAEDを設置しています。

*うち79か所はAEDを自主設置している民間事業所を協力施設として認定した「やまとAED救急ステーション」(7月1日現在)。

左のステッカーのある施設のAEDを使うことができます。

電源を入れると音声ガイドが流れるので操作は簡単。電気ショックの必要性もAEDが判定します。

電極パッドを張りつける

↓

電気ショックボタン

電気ショックのボタンを押す

↓

心肺蘇生法を再開

スタート

電源

電源を入れ、電極パッドを取り出す

※ふたを開けると自動で電源が入るものもあります。

↓

ショックが必要な場合

↓

ショックが不要な場合

↓

傷病者の体に触れずに待つ

問 消防本部救急救命課救急救命担当 ☎(260)5751 FAX(262)0119。

市内在住者対象 医療情報サービスのご案内

万一のときのために… 「救急医療情報キット」を配布中



病歴や身体状況などを記入した救急医療情報シートを同キット内に入れて各家庭の冷蔵庫に保管してください。急病時などに駆けつけた救急隊員が迅速に適切な処置をするために活用します。

※配布場所など詳しくはお問い合わせください。

年中無休・24時間体制・無料

「やまと24時間健康相談」

☎0120(244)810

電話でいつでも、保健師、看護師などの資格を持った相談員が相談に応じます。

健康相談 医療機関案内・医療相談

メンタルヘルス相談 育児相談 介護相談

問 保健福祉センター健康づくり推進課健康づくり・がん予防担当 ☎(260)5662 FAX(260)1156。